

別記様式第1号（第4条関係）

木津川市子ども・子育て会議 開催結果要旨

会 議 名	平成29年度第1回木津川市子ども・子育て会議		
日 時	平成29年4月20日 午後1時30分～3時30分	場 所	木津川市役所 第2北別館2階
出 席 者	委 員	別紙のとおり	
	その他出席者	なし	傍聴人の数 1人
	庶 務	こども宝課	■公開 □非公開
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 木津川市保育園民営化等実施計画（案）のパブリックコメントの実施結果等について</p> <p>(2) エコチル調査連携事業について</p> <p>(3) その他</p> <p>①木津川市子育て応援サイト「きづがわいい」の開設について</p> <p>②連絡事項</p> <p>4 閉会</p>		
会議結果要旨	<p>1 開会</p> <p>事務局より、司会進行・開会・会議資料の確認。会長より議事進行。</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>安藤会長より、本日の会議録の署名委員について、会長のほかに森岡委員が会長から指名された。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 「木津川市保育園民営化等実施計画（案）のパブリックコメントの実施結果等について」について</p> <p>「資料 1-1, 1-2 計画（案）」に基づき、事務局より説明</p>		

	<p>(2) エコチル調査連携事業について 「資料 2」に基づき事務局より説明</p> <p>(3) その他</p> <p>①木津川市子育て応援サイト「きづがわいい」の開設について 「資料 3」に基づき事務局より説明</p> <p>4 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1 開会 事務局より、司会進行・開会の後、会長より議事進行。</p> <p>2 会長あいさつ 本日の議題は3件であり、よろしく願います。 署名委員は出席委員の中から指名させていただく。署名委員は森岡委員で願います。</p> <p>3 議事</p> <p>主な意見・質疑等はつぎのとおり (○：質疑・意見、 ⇒：質疑に対する返答)</p> <p>(1)「木津川市保育園民営化等実施計画（案）」のパブリックコメントの実施結果等について</p> <p>【説明】 資料 1-1 については、パブリックコメントの実施結果をつけている。HP等で公表していく原案となる。平成28年度で3回の子ども・子育て会議を経てご意見をいただきながら進めてきたところである。そのような中で昨年11月に庁内の政策会議の中でパブリックコメントにかけることについても了承をいただいた。H29.12.7～H29.1.10まで実施し、その結果、100件の意見が寄せられた。また、提出方法としては、持参が多く保育園を窓口としていたこともあって、ほとんどが持参となっている。 次に資料 1-2 と実施計画（案）の P16.17 を併せてみていただきたい。ここは、各公立保育園の一定のスケジュールについて提示している。</p>

100 件の意見では大きく三つに分けることができる。

一つ目 木津・加茂・山城それぞれ拠点園を残すこととしており、木津地域については清水保育園を残すことで計画している。清水保育園の施設規模と年齢区分が 0～2 歳なので年齢により受入ができないのではないかと懸念がある。そこで木津保育園を残さないのかという意見がある。これに関し、市の考え方として公立保育所の設置状況等、諸状況を勘案する中で一定の考え方を示しているところ。この計画で進めたいと考えている。

2つ目 いづみ保育園・やましる保育園は認定こども園に移行するのに、公立幼稚園は移行しないのですかという意見がある。平成 32 年には、いづみ保育園・やましる保育園は幼保連携型認定こども園化については、1 号の需要を見ながら進めていきたい。

3つ目 相楽台保育園について、H31 年度兜台保育園に統廃合という計画を立てている。意見としてはなぜ閉めるのか、保護者が希望すれば、相楽台保育園から兜台保育園へは全員入れるのか等の問い合わせである。ご意見を聞きながら進めていきたい。この意見については、一番多い意見であった。丁寧に進めていきたいと考えている。

#### 【質問・意見】

○相楽台保育園の関係では、現に入所している児童の在園保障等の意見がでているが。

⇒平成 31 年度の相楽台保育園の統廃合については、閉園時の在園児の状況を見ながら、策定後は保護者説明会を実施し、保護者の意向も聞きながら、兜台保育園への転園を含めた利用調整を図ることとし、兜台保育園については、認可定員と利用定員数の差、定員の弾力化、施設規模等を勘案しながら社会福祉法人愛光福祉会とも協議を行いながら進めることとし、案どおり策定したい。

○計画案の清水保育園を公設公営園として残す位置づけを持っておくべきと考える。

木津地域で 5 歳児までの園を残しては、公立幼稚園も認定こども園に移行したらスムーズに進むのではないかと。

木津地域には、木津保育園を公設公営の地域拠点園として残すこともあり得るのではないか。加茂、山城では1号の潜在的ニーズも含めて幼稚園要望が見込まれるため、認定こども園化には賛成してきた。幼稚園教諭免許の更新、研修の必要性等、認定こども園移行への懸念材料はある。

⇒木津地域の地域拠点園については、各園の配置状況や施設状況、子どもの見込み量（0・1・2歳の需要）等を勘案し計画した。策定後は保護者等説明会を行うとともに、保護者・選定事業者・市で三者懇談会を設置し課題抽出・解決しながら丁寧に進める。

○いづみ保育園の認定こども園移行は、南加茂台保育園廃園と併せて考えるべき。職員の幼稚園教諭免許更新も進んでいない。こども園移行の期間を後年度にできないか。

やましろ保育園は3号認定（0・1・2歳の保育利用の必要な子ども）児童のニーズが高い。また、全年齢で定員の空き枠が無い状況となっている。1号認定（幼稚園部分）児童の受入れは厳しい。また、職員の免許更新も進んでいない。こども園移行をもう少し遅らせては。

⇒いづみ・やましろ保育園の認定こども園化については、資格更新状況により人事所管課とも協議を進める。また、各地域の2号（3・4・5歳）児童の整合を図りながら慎重に行いたい。

○木津川市は第三者評価を受けていないことから、評価する基準がない。公立のレベルがどのようなものかわからない。今後必要になってくるだろう。

幼稚園免許の更新は免許更新する場が少ないが、新たに設置された大学もある。

⇒第三者評価について検討していきたい。

○パブコメ意見の目を通したが、保護者の不安がうかがえる。この先どうなるのか、保育園の情報のないまま今に至ることが不安なのかもしれない。説明して納得してもらうことはできにくいと思う。説明会だけでなく、移行する兜台保育園の見学会を実施する等、情報・連携を諮りなが

ら進めていけばいいのではないか。保護者の方の目線に沿ったやり方でないと不安がつるのでないか。保育園同士の連携を取っていくことで、不安が解消されるのではないか。

⇒まず、ベースになるのは計画になると思われるので、一定の方向が必要と考える。指標としてこの計画を策定していくが、保護者が主体にならなければならない。実施段階でどのように進めていくかになる。三者協議を進めて話をしていく。方向性の計画として理解していただきながら、進めていきたい。

○木津保育園の反対署名について、法的には回答不要とは思いますが、パブリックコメントの意見数とも併せると慎重に進めるべき。

⇒計画策定後、対象園の保護者には丁寧に説明する。



○民営化は今日始まったことではなく、先行した自治体を参考にしながら、進めてほしい。

○各委員、現場からもご意見があったが、計画がないとどうやってうまくいくか進められないので、これは目標にむかってどのようにしていけばいいか考えていけたらいいと思う。

## (2)エコチル調査連携事業について 資料2

木津川市は、エコチル調査支援協議会を設置しており、同調査の実施団体が計画しているこどもの睡眠リズム改善プロジェクトに共同で取り組むものについて、木津川市は、環境省からエコチル調査の協力をしている関係で、近年こどもの睡眠リズムの課題が出てきている。公立保育園に在園している子どもとその保護者を対象として行うものである。

協力していただける保護者を対象としている。もし、睡眠リズムを整えるための情報を保護者に届ける必要があれば、個別に対応していくこともある。

	<p>(3)その他</p> <p>①木津川市子育て応援サイト「きづがわいい」の開設についてプロジェクターを利用して説明 子育て世帯の方がすぐにアクセスしていただけるものとして作成したページである。4月1日から運営している。</p> <p>②連絡事項 4月1日からの梅美台保育園の民設民営化及び民間園のこども園化について事務局より報告した。</p> <p>4 閉会</p>
<p>その他特記事項</p>	
<p>署名欄</p>	<p>木津川市子ども・子育て会議 会長</p> <p>安藤 和彦 </p> <hr/> <p>森岡 章子 </p>